

# 平成5年度事業計画(案)

(自平成5年4月1日・至平成6年3月31日)

## 1. 主要な活動計画

平成3年度、新組織体制に移行し、爾後、学会活動の活性化は徐々に軌道に乗りつつある。すなわち、3年度には、各種の広聴活動により広く会員の声を聞き、学会の問題点の把握につとめ、それを克服する方法とその実施スケジュールを検討した。平成4年度には、理事会をはじめ各会議で各施策の実施推進方法を検討し、実施に移せるものから実施するとともに、さらに学会活性化懇談会、事業維持員会員との懇談会、支部幹事との懇談会、部門役員との懇談会、青年企画委員会等を精力的に開催し、外部から見た電気学会の印象、学会を魅力的にする方法、学会の将来構想等につき、豊富かつ現実的な提案を受得することができた。

## 2. 会員

項目	種別	正員	准員	学生員	事業維持員	合計
	4年度末会員数		23,093	893	1,129	629(3,490口)
入会・復活予定		+1,550	+250	+500	+5(+10口)	+2,305
種別変更	准→正	+550	-550	—	—	0
	学→准	—	+180	-180	—	0
退会予測		-1,500	-80	-20	-5(-10口)	-1,605
増減		+600	-200	+300	0(0口)	+700
5年度末会員数(推定)		23,693	693	1,429	629(3,490口)	26,444

## 3. 国際交流助成

- (1) 外国学会との交流で海外の研究者・技術者を招聘するための助成  
5~10件(助成総額約350万円)
- (2) 海外で開催される国際会議出席者に対する補助  
10~25件(助成総額約500万円)

## 4. 学術振興助成

- (1) 大会ならびに研究会における優秀論文の表彰  
賞A 部門大会・研究会の論文 83件  
賞B 全国大会・支部大会の論文 120件
- (2) 優秀な技術報告、単行本に対する表彰  
4件(助成総額約40万円)
- (3) 生涯教育(セミナー、講習会、講演会開

平成5年度においては、4年度に実施に移した施策の拡大推進とともに、その他の改善策についても着実な実施・展開をはかり、活性化の動きを加速させつつ、同時に、その歩みをゆるぎないものにして行きたいと考える。

重点指向する方策はつぎのとおりである。

- (イ)国際化諸方策の展開促進
- (ロ)本誌の改善
- (ハ)査読システムの改善
- (ニ)一般向けイベントの実施
- (ホ)支所の増設と支所による地域社会活動
- (ヘ)技術・社会・経済等全般に関連する大きな課題の調査・研究
- (ト)青年企画委員会の提言の採択
- (チ)部門の独立会計制度の確立

催等)に対する助成(助成総額約200万円)

- (4) 日本学術会議と共同で開催の講演会等に対する助成(助成総額約60万円)
- (5) 専門委員会および電気規格調査会活動等に対する助成(助成総額約800万円)

## 5. 通信教育

- (1) 大学講座、高校講座の通信教育  
入学者は、大学講座が340名、高校講座が170名と見込む。
- (2) 技術講座の通信教育  
入学者は、60名と見込む。
- (3) 効果的な宣伝、広告を実施する。

## 6. 雑誌

- (1) 平成5年度の電気学会雑誌の発行は、次

のとおりとする。

- ①平成5年4月より12月までの9か月については、現行の雑誌を発行する。
- ②平成5年4月には、カラー記事を取り入れた変形A4版の「増刊号」を発行する。
- ③平成6年1月からは、増刊号の形態を取り入れた「新電気学会誌」を発行する。

(2) 発行部数

	発行月	発行部数	ページ数
現行雑誌	平成5年4月～12月	25,200×9=226,800	1,620
増刊号	平成5年4月	26,300	93
新学会誌	平成6年1月～3月	25,200×3=75,600	300*
合計		328,700	2,013

注 \*増刊号のページの約3倍とした。

(3) 各雑誌の企画内容

- ①現行雑誌の企画内容は従来どおりとする。
- ②増刊号については、インタビュー記事、特集、解説、学生欄、技術探索記事、支部だより、規格調査会記事、その他を企画している。
- ③新学会誌については、今後の新学会誌編修委員会発足後に検討する。

7. 部門誌

項目\部門	A	B	C	D	合計
発行部数	63,600	108,000	98,400	84,000	354,000
ページ数	936	1,300	1,080	1,296	4,612

8. 雑誌、部門誌関係委員会開催数

(1) 雑誌編集

編修委員会:	7回
新提案検討委員会:	1回
新学会誌委員会:	12回

合計 20回

(2) 部門誌編集

論文委員会:	12回
A部門誌編修委員会:	12回
B部門誌編修委員会:	12回
C部門誌編修委員会:	12回
D部門誌編修委員会:	12回

合計 60回

9. 研究調査会

(1) 委員会開催数

委員会\部門	A	B	C	D	合計
運営委員会	4	4	4	4	16

技術委員会	40	42	36	60	178
専門委員会*	300	210	220	308	1,038
研究会	70	20	40	62	192
合計	414	276	300	434	1,424

\* 小委員会、幹事会を含む

(2) 新設委員会

部門\委員会	A	B	C	D	合計
技術委員会	0	0	0	0	0
専門委員会	15	25	16	22	78
合計	15	25	16	22	78

(3) 解散委員会

部門\委員会	A	B	C	D	合計
技術委員会	0	0	0	0	0
専門委員会	13	25	8	24	70
合計	13	25	8	24	70

(4) 研究会発表論文件数

部門	A	B	C	D	合計
件数	1,030	425	322	676	2,453

10. 出版

- (1) 技術報告発行 42点  
(A部門:10点 4,000部, B部門:13点 5,200部, C部門:9点 3,600部, D部門:10点 4,000部)
- (2) 技術報告単行本発行(委託) 3点
- (3) 専門用語集発行(委託) 3点
- (4) 標準規格発行(委託) 5点
- (5) 教科書発行 58点

11. 支部活動

各支部において支部連合大会、連合研究会をはじめ、講習会、講演会および見学会などを開催する。

12. 大会

- (1) 平成5年電気学会全国大会は平成5年3月30日から4月1日まで熊本大学で開催
- (2) 平成5年電気・情報関連学会連合大会は平成5年8月30日から31日まで早稲田大学で開催
- (3) 平成5年電気学会電力・エネルギー部門大会は平成5年7月28日から30日まで北海道大学で開催
- (4) 平成5年電気学会電子・情報・システム

部門大会は平成5年7月15日から16日まで東京理科大学野田校舎で開催

- (5) 平成5年電気学会産業応用部門全国大会は平成5年8月24日から27日まで東京電機大学神田校舎で開催

### 13. 電気規格調査会

#### (1) 委員会の開催回数

規格総会	1回
規格役員会	5回
	(うち、地方開催が1回)
常置委員会	20回
標準特別委員会	120回
	(小委員会、幹事会を含む)
IEC国内委員会	110回

合計 256回

- (2) 標準規格(JEC)の制定・改訂および専門用語集改訂 9件

#### ・JEC

制定	2件
① JEC-XXX「距離継電器」	
② JEC-XXX「ガス絶縁開閉装置」	
改訂	6件
① JEC-204「変圧器」	
② JEC-189「逆阻止三端子サイリスタ」	
③ JEC-146「半導体整流装置」	
④ JEC-202「自励式半導体電力変換」	
⑤ JEC-2300「交流遮断器」	
⑥ JEC-174 B「電圧継電器」	

#### ・専門用語集

改訂	1件
① 「照明」	

### 14. 広報

広報活動の1つとして学会ニュースを発行し、広く学会活動の周知、宣伝に努める。

### 15. 会議・委員会等

通常総会	1
評議員会	1
理事会	5
企画会議	4
会計会議	4
編修会議	2
調査会議	4
企画委員会	2
広報委員会	4
表彰委員会	6

(進歩賞小委員会2回, 論文著作賞小委員会2回を含む)

会計委員会	4
広告委員会	3
編修委員会	12
出版委員会	8
	(出版企画小委員会4回を含む)
全国大会委員会	3
通信教育委員会	2
エネルギー問題検討特別委員会	6
産業技術調査特別委員会	6
青年企画委員会	5

合計 82回

#### その他

部門役員会 16回 (A部門役員会4回, B部門役員会4回, C部門役員会4回, D部門役員会4回)

### 16. 表彰

功績賞, 業績賞および電気学術振興賞(進歩賞8件, 論文賞8件, 著作賞1件)の表彰を行う。

### 17. 国際会議

- 電力変換国際会議 平成5年4月19日から21日まで パシフィコ横浜
- 第7回固体センサ国際会議 平成5年6月7日から10日まで パシフィコ横浜
- 小形モータ国際会議 平成5年7月22日から23日まで 川崎市神奈川サイエンスパーク
- 第8回高電圧工学国際会議 平成5年8月22日から27日まで パシフィコ横浜
- 電気絶縁に関する国際ワークショップと第25回電気絶縁材料シンポジウムのJoint Conference 平成5年9月6日から8日まで 名古屋大学
- 第12回熱電変換国際会議 平成5年11月9日から11日まで パシフィコ横浜平和会議場

### 18. その他

- (1) 名誉員の推薦
- (2) 学術団体の講演会等の共催・協賛・後援
- (3) 各種団体の研究助成候補者の推薦

以上

## 平成5年度 予算 (案)

(平成5年4月1日より平成6年3月31日まで)

### 収入の部 (単位:千円)

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
会 費 収 入	218,800	105,100	323,900
正 員 会 費	118,900	93,500	212,400
准 員 会 費	500	2,100	2,600
学 生 員 会 費	0	2,700	2,700
入 会 金	1,300	0	1,300
終身会費取らずし金	0	200	200
維持員会費	98,100	6,600	104,700
雑誌・部門誌収入	85,900	61,700	147,600
頒布収入	82,300	11,300	93,600
広告収入	3,600	50,400	54,000
函 書 収 入	0	200,200	200,200
全国大会収入	32,000	0	32,000
通信教育収入	10,300	0	10,300
調査収入	101,200	0	101,200
雑 収 入	400	0	400
利 子 収 入	19,800	0	19,800
補 助 金	2,800	0	2,800
受託会計繰入金	1,400	0	1,400
特別会計繰入金	9,000	0	9,000
特別積立金繰入	22,300	30,000	52,300
合 計	503,900	397,000	900,900

### 支出の部 (単位:千円)

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
事 務 所 費	38,500	30,200	68,700
事 務 費	27,300	21,500	48,800
人 件 費	132,800	104,000	236,800
諸 会 費	1,500	0	1,500
支 部 費	21,400	0	21,400
部 門 費	4,500	0	4,500
賞 金 費	4,000	0	4,000
全国大会費	30,500	0	30,500
通信教育費	9,000	0	9,000
電気規格調査会費	12,600	0	12,600
研究調査委員会費	88,600	0	88,600
雑誌・部門誌出版費	115,400	112,800	228,200
函 書 出 版 費	0	122,300	122,300
予 備 費	17,800	6,200	24,000
合 計	503,900	397,000	900,900